

映画看板の神様

城戸久馬之進が描く

博多の祭り展

中洲川端 博多リバレイン 7階 アジア美術館ギャラリー



2010.7月8(木)～13(火)

入場無料

10:00 am～8:00 pm

(財)福岡市文化芸術振興財団助成事業

福岡市、(財)福岡市文化芸術振興財団 後援

城戸久馬之進が、博多住吉の電車の工房で描き続けた

映画看板の貴重な資料100点全国初公開



ハカタ・リバイバル・プラン「はかた博物館」は、**城戸久馬之進**が1950～65年の映画全盛期に映画看板絵師として活躍して博多中洲の映画館街を飾った数多くの**映画看板**の貴重な記録写真と、45歳で引退後 深い愛着を持って四季の**博多の祭り**を油彩で描いた大作の数々を**博多発の Asian Art** として世界に発信いたします。 web.me.com/hakata8museum/

山笠のあるけん博多たいり！ 博多の祭展



城戸久馬之進
超絶リアル!
油絵 水彩画
100点余
一挙公開

博多発

The Asian Art



城戸久馬之進 映画看板の神様

昭和30年代 劇場映画の
全盛期 博多中洲で活躍
全国に名を馳せた..

貴重な当時の看板資料

全100点
同時初公開



午前10:00~午後8:00

入場無料

2010.7月8(木)~13(火)

■ 特別企画ギャラリートーク：父「久馬之進」を語る 10日18時

中洲川端 博多リバレイン 7階 アジア美術館ギャラリー



城戸久馬之進は、大正7年飯塚に生れ、14歳で高等小学校卒業。周囲から画才を認められていたが家庭の事情で美校への夢ならず、商業絵画の工房へ入門。18歳で師に認められて独立。その後兵役、終戦。

博多住吉の電车道...

鶴亀湯の向、仁和加旅館の筋向に、城戸久馬之進の工房があった。

工房の電车道を挟んで向、鶴亀湯に出来立ての看板を立掛けて..



映画看板の神様

昭和22年映画広告業界への復帰を思い博多へ。若き日の才能に磨きをかけ、映画広告業界で頭角を表わし城戸画房を設立、昭和20年代～30年代に博多中洲で大活躍、また多くの優秀な弟子を育成した。その絶頂期には「博多に優れた絵描きあり」と全国から訪問者が多数あり「日本一」との声もあった。



噂を聞いてハリウッドから来た映画配給会社の社長が「史上最大の作戦」の看板↓を見て「アメリカでも、これほどの看板絵師はいない！」と絶賛したとか... **ということは、世界一？！！**



博多の祭り

45歳で引退、若き日の夢であった純粹絵画へと邁進する。創元会に入会。日展に初出品で入選し翌年連続入選。その後も公募展への出品個展を重ねる。画伯は40才後半より70才晩年まで様々な博多の祭りをテーマに描いた。その数は大小合わせて二百点を超える。



博多の四季折々の祭りの絵画は、その細部にわたるまでの緻密さ、超絶！リアルな描写で観る者の心に迫り、人々のざわめき、歓声が聞えてきて、祭りの真只中に居るかのような錯覚さえ感じさせる。特に山笠には思い入れが強く五十歳を過ぎてから水法被に締め込み姿で「ヤマ」を昇き、その体験の中で多くの作品を描いた。画伯の最も得意とする光と、群像は、博多の祭りのエネルギーの爆発を見事に描き切った躍動感あふれる作品となって、見る者の心を捉えて放さない魅力がある。

今回のアジア美術館での城戸久馬之進の展覧会は、福岡市文化芸術振興財団の助成事業で、福岡市と福岡市文化芸術振興財団の後援をいただいています

祝 辞



この度「博多の祭展」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

この「博多の祭展」は、「博多発のアジア・アート」を紹介する試みとして企画された展覧会であり、昭和30年代に映画看板絵師として博多中洲で活躍し全国に名を馳せ、また、山笠をはじめ、博多の四季折々の祭りを題材とした作品を数多く残した 城戸久馬之進画伯の作品が、公開されております。

私が、城戸久馬之進画伯の作品に出会ったのは、2年前の山笠の季節に市民の皆様との対話集会である「聞きたかけん」で、築百年の博多の町家を訪れたときでした。ひんやりとした空気の町家に入ると、壁一面に山笠を描いた絵画が掛けてあり、その迫力に大変感動いたしました。

今回の展覧会では、博多の祭りを描いた絵画約100点の外、映画看板絵師として活躍された頃の貴重な看板資料も初公開されると伺っております。多くの皆様にこの「博多の祭展」を楽しんでいただきたいと思っております。

本市におきましては、一昨年の12月に、魅力ある街づくりを目指して、「福岡市文化芸術振興ビジョン」を策定し、美術をはじめとした様々な分野の文化芸術活動に市民が触れ、親しむ環境づくりはもとより、地域づくりやまちづくりの活性化につなげていく取り組みを進めているところでありますので、今後とも皆様方の更なるご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本展の盛会を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

福岡市長 吉田 宏